

# 見える化通信

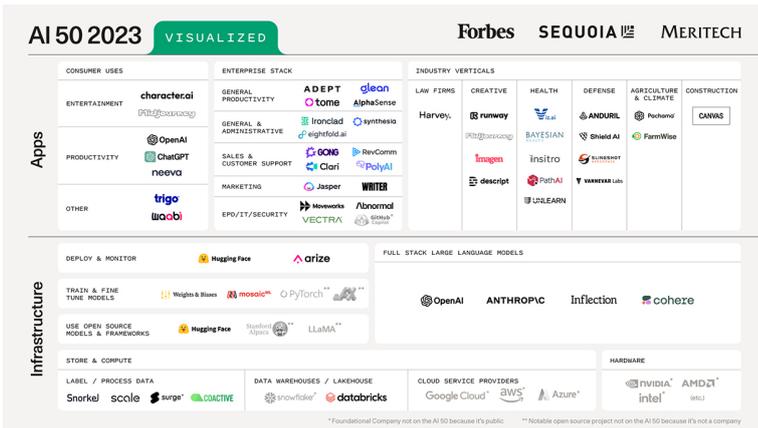
## 生成系AIの発展で 私たちの仕事はどうなる？



最近のAIの普及は驚異的ともいえ、中でも、昨年11月末にリリース後わずか1週間でユーザー数100万人を突破したChatGPTに代表される生成系AIの技術が注目されています。生成系AIの進化とその広がりはどのような影響をもたらすのでしょうか。

電機連合 総合産業・社会政策部門

■図表 Forbes AI 50※ 2023 に選出された企業



出典：Sequoia Capital: The Generative AI Application Landscape  
<https://www.sequoiacap.com/article/ai-50-2023/>

生成系AIとは人工知能(AI)の一種で、人間が行う創造的なタスクを実行することができる技術です。文章やソースコード等のテキストの他にも、音声や音楽、画像、動画などを自動生成することができます。これまでのAI技術は、人間が決めたルールに従って特定のタスクをこなすものがほとんどでした。しかし、生成系AIは、あらかじめ決められたルールに従うのではなく、学習データから自己学習を行い、自律的に創造的な作品を生成することができます。

生成系AIとは人工知能(AI)の一種で、人間が行う創造的なタスクを実行することができる技術です。文章やソースコード等のテキストの他にも、音声や音楽、画像、動画などを自動生成することができます。これまでのAI技術は、人間が決めたルールに従って特定のタスクをこなすものがほとんどでした。しかし、生成系AIは、あらかじめ決められたルールに従うのではなく、学習データから自己学習を行い、自律的に創造的な作品を生成することができます。

生成系AIは、すでに様々な分野で活用されています。ビジネス分野では、文章生成や画像生成のみならず、商品の需要予測や広告の最適化、顧客サポート等、医療分野では画像診断や遺伝子解析などが生成系AIを使って行われています。将来的には、生徒一人ひとりに合わせて作られた教材を使って各自のペースで学習するといった教育分野での活用も期待されています。

生成系AIの進化は私たちの仕事にも大きな影響を及ぼすと言われています。例えば、データ入力や資料作成といったオフィスワーカーの定型業務や外国語の翻訳等、従来人手でやってきた仕事の一部あるいは多くがAIに代替または自動化され、業務効率化が劇的に進み生産性が向上すると予測されており、私たち労働者はAIを活用した新しい業務の進め方への対応や、新たなスキルの習得が求められるでしょう。また、生成系AIを活用し、これまでになかった新しい文化産業やビジネスモデルが生まれるのではないかとも言われています。

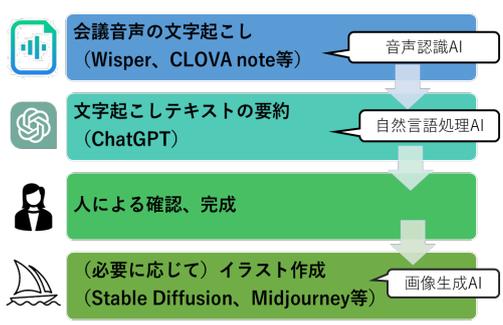
もちろん生成系AIには課題もあります。例えば学習に用いられるデータセットに偏りがあれば導き出される結果にバイアスが生じますし、生成された作品が著作権やプライバシーの問題などを引き起こす可能性もあります。従って、データの品質管理や導き出された結果に対する最終的な判断は人間が行う必要があります。さらに、生成された作品の使用や倫理著作権の取り扱いなど、法的な規制や倫理的なガイドラインの策定、データを集めるための倫理的な枠組みも必要となってくるでしょう。

生成系AIの進展により、労働者にとっては負荷の軽減や作業効率の向上が期待できる一方で、仕事を失うのではないかと懸念も生じています。今後、私たちは、AIの進展によって減少・喪失する仕事に代わる新しい仕事の創出や、新しいスキルを身につけるための教育プログラムの提供を会社側に求めていくことが必要になってくるかもしれません。生成系AIの新たな可能性を活かしつつ、働く者をいかに守っていくかを考えていくと同時に、私たち一人ひとりが主体的にリスクリングに取り組むマインドを持つことが必要です。

生成系AIの進展により、労働者にとっては負荷の軽減や作業効率の向上が期待できる一方で、仕事を失うのではないかと懸念も生じています。今後、私たちは、AIの進展によって減少・喪失する仕事に代わる新しい仕事の創出や、新しいスキルを身につけるための教育プログラムの提供を会社側に求めていくことが必要になってくるかもしれません。生成系AIの新たな可能性を活かしつつ、働く者をいかに守っていくかを考えていくと同時に、私たち一人ひとりが主体的にリスクリングに取り組むマインドを持つことが必要です。

■図表 組合業務へのAIツール活用例

～会議の議事録作成～



他にも業務に活用できる色々なAIツールがあります。皆さんも探してみてくださいはいかがですか？

※Forbes AI 50  
米国の経済雑誌「Forbes」とベンチャーキャピタル「Sequoia Capital」、Meritech Capital社が協力し、AIを活用したビジネスを展開する最も有望な未上場企業を表彰するもの